

優秀賞

小学生部門

愛知県一宮市

一宮市立葉栗北小学校3年

長谷川 智弥

心にのこる言葉「守る」

今、ぼくは三年生です。ぼくが今までに出会った言葉の中で、とくに「心にのこる言葉」をしようかいたします。

それは、「守る」です。

ぼくのお父さんは、ぼくが五さいの時に天国へ行ってしまった。お父さんがぼくのこした言葉が「家族を守る」という言葉でした。本当は、家族の中で一番強いお父さんが守ってくれるのですが、お父さんは天国に行ってしまった、みんなを守れません。

ぼくは、まだ三年生で小さいけれど大きくなったらおじいちゃん、おばあちゃん、お母さん、お姉ちゃんがこまった時は、ぼくが助けて守ってあげようと思います。

人を守るためには、自分が強くならなければなりません。毎日の生活の中で強くなるために、ど力をしていきたいと思います。

まず学校では、けんかをしないで、友だちとなかよくしたいと思います。家ではお母さんが毎日仕事でおそくにかえってきます。ぼくはお母さんにいろいろな心配をかけないで、お手つだいをいっぱいしたいと思います。おじいちゃんには、かたをたたいてあげます。

また、ごはんの時にはおはしをならべたり、かいだんそうじをしたりして、おばあちゃんのお手つだいをしたいと思います。

お父さんとの「家族を守る」のやくそくをわすれません。ぼくは、やくそくを守りますから天国から見てください。